

デーリー東北
2025年(令和7年)3月20日(木曜日) (15)

八高支の活動イラストに

羽田さん(八工大4年)製作、70種類



青森県立八戸高等支援学校のイラストを製作した羽田響さん(右から3人目)。生徒たちから出来栄を絶賛されていた

「学校の理解促進に役立てば」

八戸

八戸工業大感性デザイン学科4年の羽田響さん(22)が、青森県立八戸高等支援学校(菊地康弘校長)のマスケットキャラクター「ジョーさん」の擬人化イラストと、生徒の活動風景を表現したイラスト約70種類を製作した。卒業研究の一環で、昨年6月から生徒と意見交換を重ねて完成にこぎ着けた。著作権は八高支に譲渡して自由に活用してもらう方針で、「イラストが学校の理解促進に役立てば」と願いを込める。(上條哲洋)

ジョーさんは2017 生徒に手渡した。

年、八高支の生徒がサメをモチーフに考案した。今回 善さんは「細かい部分も書は、さらに生徒や地域に親しみ込んでもあり、素晴らしい仕上がり。学校のイメージ男女に擬人化した。活動風景が明るくなりそう」と出来景のイラストは料理や農作業、木工といった実践的な後の教育活動で活用し、ホ学びの様子や日常風景を表現。菊地校長は「今現。羽田さんは「一つ一つが生徒の活動とつながっており、見た人に伝わるよう工夫した」と振り返る。

17日は羽田さんが八高支を訪れ、イラストのデータが入ったUSBメモリーを渡すことができてよかった。これから自由な発想で使ってもらえたら」と満面が笑みだった。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。